市民のひろば

掲示板

◆2014ビューティ&コキーズ演奏会

【日時】5月25日（日）13時30分開場・14時開演
※入場無料
【場所】中央公民館ホール
【演奏曲】ふるさとの四季（全12曲）、よさこい、五木の子守歌・翼をください マイウェイ ほか
【問い合わせ先】三谷誠郎☎52・4832

◆第7回高知大学農学部演習林トレイルランニングレース2014

【日時】7月6日（日）
※小雨決行
受付＝7時30分から
スタート＝9時30分
【場所】高知大学農学部演習林（土佐山田町上穴内）
※駐車台数に限りあり
【種目】①個人30キロ②個人15キロ③団体＝1チーム3名（男子・女子・男女混合の3部門）
【コース】演習林内の林道、作業路、歩道
【定員】①個人30キロ＝50名 ②個人15キロ＝200名
【参加資格】18歳以上で、体調管理に留意できる方。
【参加料】①個人30キロ＝4千円 ②個人15キロ＝3千円
【締切日】6月27日（金）
【問い合わせ・申込先】高知大学農学部演習林トレイルランニングレース実行委員会
☎088・864・5115
電話番号をFAXまたはメールでお知らせください。
【申込先】物部森林組合いざなぎ流係
FAX 58・3116
monobe-sinrin@clock.ocn.ne.jp
【問い合わせ先】生涯学習振興課☎53・1082

◆いざなぎ流シンポジウムと里巡り

【日時】5月24日（土）13時～ シンポジウム 16時30分～17時30分 いざなぎ流神楽公演
【場所】奥物部ふれあいプラザ（香美市物部町）
【定員】100名（事前申し込みが必要です）
【参加費】500円
【申込方法】住所・氏名・

おたんじょうび おめでとう

今月満1～3歳の誕生日を迎えるお子さんを紹介します。

※①は土佐山田町、②は香北町、③は物部町です。

申し込みは誕生月の前月1日まで。
問 総務課 ☎53－3112

まちの声

◆補助制度に感謝

想定〝全壊〟の判定だった耐震診断。高まる南海トラフ地震の発生確率。「即死ならともかく、負傷して生き残ったら…」という思いから耐震補強に踏み切った。県や市の補助が大きなきっかけだった。市内の設計・建築士のていねいな説明と手際よい施工。シロアリや庭からの床下浸水への対応。ついでの改築も気軽に仕上げてくれた。改修費用の一部として90万円の補助があり、さらに税制上のメリットもあるという。親から受け継いだ築50年の我が家。50年後には孫が手入れをして、住んでくれていることだろう。（土佐山田町北本町・男性）

編集後記

▼先月号からリニューアルされた広報香美。4月の異動で広報も新体制に。課内異動で、5年半務めた広報香美の主担当からサポート役に。今後も、特集記事を中心に、誌面作りに携わっていきますので、よろしくお願いします。（細木）
▼読者として楽しんできた広報香美を、まさか自分が作ることになるとは。慣れないパソコンソフトや、読みやすい誌面作りに悪戦苦闘の毎日です。目指せ、楽しくて役に立つ広報誌。頑張ります。（小松）

（山田高校マンガ部）

香美史探訪記

第58回
野中神社
（土佐山田町中組）

江戸時代初期まで、香長平野には多くの荒地が広がっていた。香美市の中心市街は一段高く、水を得ることが難しい地域であった。**野中兼山良継**は、ここに用水路を開いた先人である。

寛永8年（1631）、**兼山**は奉行に選任され、約30年も藩政を掌握して藩内各地に多くの業績を残した。祖母が藩祖**山内一豊**の妹であったことも助けであったと思われる。

山田堰など、大河に堰を設けて用水路を開き、港を整備して水上交通や漁業を盛んにした。また、宇和島藩との国境への取り組みや、長宗我部遺臣を郷士に取り立てる道を開くなど、土佐藩二十四万石はこの頃倍増したと言われている。

土佐山田では、上井（うわゆ）、中井（なかゆ）、舟入川の恩恵で安定した稲作が可能となった。特に南組や中組の水田は、正保2年（1645）上井開通のお陰で農業地域としての発展の基礎を得た。

▲野中神社（お婉堂）

山田野地もその恩恵を受け発展したものだ。一方、苛酷な労働や産物の統制で民には苦痛をも残した。

兼山は、3代藩主**忠豊**の重臣たちの画策により失脚し、中野の**明夷軒**（めいいけん）に隠居して約4カ月、寛文3年（1663）12月15日、49歳で没した。さらに生前に謀反の企てがあったとして、子女は追罰で宿毛に幽閉、野中家は取りつぶしとなり、40年間外出を禁じられた。その後4人の男子が亡くなると、**寛・婉・将**の3姉妹と妻・乳母たちは許された。

4子**婉**は、元禄16年（1703）、朝倉村の**井口氏**を頼り医業の傍ら、宿毛の医師**安田道玄**や**谷秦山**を師として、医学・薬草・儒学・神道・詩文などを学んだ。

婉は旧臣**古槙重固**（ふるまきしげかた）の協力を得て、上野に土地を求めて一間四面の堂を建て、宝永5年（1708）、先祖の慰霊祭を行い、田5反を寄進して**古槙氏**に後の祭祀を依頼した。堂内には、**婉**作の漢詩の短冊と**古槙重固**の神牌が納められている。その後、上野地区民の手で土地が寄進されて、お通夜堂、上井田役倉庫が建てられている。**お婉堂**に**野中氏一族二十一柱**を拝し、その偉業に思いをはせてほしい。

（香美史談会）

ただいま留学中 No.84

香美市の皆さん、こんにちは。アナシワタ・アナシ・ワタゲ・ブッディカ・イマンタです。

インド洋に浮かぶスリランカの古都コロンボの南400キロにあるゴールという町から来ました。そこは海と山がきれいで、なんとなく高知に似ている気がします。ただ、スリランカは乾季と雨季しかないので、日本の四季の豊かさが新鮮です。

私が日本の文化に触れたのは、スリランカで放送された『おしん』をテレビで見たときです。今もみんなそんな農村中心の生活をしていると思っていたら、日本は意外に西欧化されているので驚きました。

昨年10月から、高知工科大学大学院博士後期課程に入学し、浮上式アクチュエーターの研究をしています。これは、摩擦がないようにアームやヘッドを作動させる装置で、半導体の製造にも応用できます。私はスリランカのモラトワ大学で機械工学を専攻し、大学院ではエレクトロニクスを勉強したので、今の研究はとてもやりがいがあります。

外国生活は初めてですが、地域の人たちがとても礼儀正しく、親切にしてくれるので助かっています。日本食にも慣れました。スリランカでは、生の魚を食べることはなかったのですが、今はカツオのタタキが大好物。研究の傍ら大学の旅行で高知県内をはじめ、京都や奈良をめぐり、日本の伝統や文化についても楽しみながら学んでいます。将来は、世界に通用する研究者になるのが夢ですね。

▶工科大で研究書を読むアナシさん